

令和4年第2回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

| 会派名 | 質問者 | 質問項目 | 質問項目 |
|------|-------|-------------------|---|
| つくし野 | 横尾 秋洋 | 1 本市を取り巻く社会情勢について | (1) 令和4年度市政運営に対する市長の思いは |
| | | 2 「行財政改革」について | (1) 第六次総合計画における行財政改革についてどのように評価しているか (2) ふるさと納税の今年度実績及び来年度の目標は (3) 企業版ふるさと納税が急増しているが本市の取り組みは (4) マイナンバーカード普及促進によるオンライン化は必然であるが、庁内における業務効率化はどう考えているか (5) デジタル化推進は行政だけでなく、企業、個人においても取組みが進んでいる。基本計画等が必要ではないか |
| | | 3 「産業・雇用をつくる」について | (1) 新型コロナウイルス感染症が地場企業へ大変な影響を与えているが、それについてどう考えるか。 (2) 今後、本市への企業誘致をどのように展望しているのか。 (3) 農業の生産性向上、担い手の育成、有害鳥獣駆除対策をどのように考えているのか。 |
| | | 4 「生活をまもる」について | (1) 地下河川築造工事が完了し、その効果は絶大である。今後の防災・減災の課題と対策は。 (2) 2050年に二酸化炭素排出ゼロを表明した自治体は534団体であるが、本市はどのように考えるか。 (3) 外国資本による森林買収が増え続けている。水源地確保の観点からも防止しなければならないが、市の考えは。 (4) 新型コロナウイルス感染症の拡大は日々の生活に大きな影響を与えている。感染症も自然災害と考え備えを行う考えは。 (5) 感染症による生活の変化に伴い、雇用、就学、健康等、幅広い世代が不安を感じている。総合相談窓口を開設してはどうか。 (6) 認知症による行方不明などの事案が発生する中、認知症支援対策はどのように取り組んでいくのか。 (7) 新型コロナワクチンの三回目接種は、ファイザー製、モデルナ製、それぞれの振り分けをどう考えているか (8) コロナ禍の長期化による第3期障がい福祉長期行動計画の進行管理への影響と今後の対応は。 |
| | | 5 「共助社会づくり」について | (1) 市制施行50周年は市民にとってどのような機会となり、本市の未来に向けてどのような事業と考えているのか (2) コミュニティ役員や民生児童委員、消防団員など、地域コミュニティにおける人材発掘はどのように考えているか。 (3) 移動市長室の成果、実績はどのようなものか。市政への提案や市民からのメール等はどのように活かしているか。 |
| | | 6 「未来をつくる」について | (1) 待機児童解消のため、保育園の新設などに取り組まれているが、今後、その他の対策はどう考えているか。 (2) 新型コロナウイルスが猛威を振るい、学校では学級閉鎖等の事態となっているが、今後、どのような対策をされるのか。 (3) ICT教育の推進にあたり、各校のWIFIが繋がりにくいとのことであるが、通信環境改善のための対策は。 (4) コロナ禍の影響で福祉犯罪等が増加傾向にあるが、対応策をどのように考えているか。 (5) 阿志岐山城保存計画や保存整備委員会設置条例を策定すべきではないのか。 (6) スポーツ・レクリエーションに関して、今後多様化していく市民ニーズに対する環境整備をどう考えるか (7) 地球温暖化対策に具体的にどのように取り組むのか。 (8) 山家地区に建設予定の産業廃棄物処理施設に対する市の考え方は (9) 筑紫駅西口土地区画整理事業の工事完了に際し、その成果と期待するまちの将来像はなにか。 (10) JR二日市駅西側乗降口、県道筑紫野インター線、山口原田線の整備が図られているがその先に期待するものは。 (11) 御笠自治会バスの拡充とあるが、その内容は (12) コミュニティバスも含めた高齢化による運転者不足対策としてAI活用による自動運転を導入してはどうか |
| | | 7 令和4年度予算編成について | (1) 市長が掲げる施策を十分に推進できる予算編成となっているか (2) 本市の財政状況は将来にわたり健全な状態を保つことができるものとなっているか。 |

令和4年第2回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

| 会派名 | 質問者 | 質問項目 | 質問項目 |
|------|-------|----------------------------|--|
| 市民会議 | 上村 和男 | 1 国内外の政治経済情勢と当面する喫緊の課題について | (1) 国内外の政治経済情勢についての市長の認識は。 |
| | | | (2) コロナウイルス感染症拡大を克服し、市民の命と暮らしを守ることが喫緊の課題だと考えるが。 |
| | | 2 行財政改革について | (1) 自主財源の確保をどう考えるか |
| | | | (2) デジタル化推進に向けての取組は |
| | | | (3) 子ども・子育て支援体制の充実のための「子ども部」の創設が必要ではないか |
| | | 3 産業・雇用をつくるについて | (1) 筑紫野市に存在する資源を活用した産業の創出についてどのように考えるか |
| | | | (2) 森林管理の人材育成と、雇用創出につながるように森林環境譲与税の活用策を検討すべきではないか。 |
| | | | (3) 地場産業・地場企業の育成による地域経済活性化を図るべきではないか |
| | | | (4) 国産国消、地産地消を進め、消費者が求める安全な農産物の供給体制をつくるべきではないか。 |
| | | | (5) 日本たばこ産業九州工場閉鎖後の対策について、市としての考え方を伺いたい。 |
| | | | (6) 日本遺産の保存活用は観光振興、地場企業の育成と併せて検討すべきではないか。 |
| | | 4 生活をまもるについて | (1) セーフティネットの推進について、どのように取組んでいくのか |
| | | | (2) 人権尊重のまちづくりをどのように推進するのか |
| | | | (3) 市民の健康保持・健康寿命延伸のためコミュニティごとに保健師を配置し保健体制の整備をすべきではないか |
| | | | (4) 男女平等・性的少数者の人権尊重についても辛い状況の市民が多いがどのように推進するのか。 |
| | | | (5) 防災の取り組みについて |
| | | 5 共助社会づくりについて | (1) 地域コミュニティ運営協議会に期待する役割と支援はどのようなものか。 |
| | | 6 未来をつくるについて | (1) 待機児童解消、子育て支援についてどのように取組んでいくのか |
| | | | (2) ICT教育通信環境の改善はどのように考えているか。 |
| | | | (3) 循環型・低炭素・自然共生社会を目指してCO2排出削減、ごみ減量、再資源化に積極的に取組むべきではないか。 |
| | | | (4) JR二日市駅・西鉄筑紫駅等の整備に伴う交通体系についてどのように考えているのか。 |
| | | 7 全体をとおして | (1) 市政運営全体についての市長の見解を問う |

令和4年第2回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

| 会派名 | 質問者 | 質問題目 | 質問項目 |
|--|-------|-----------------|---|
| 公明党 筑紫野市議団 | 山本加奈子 | 1 行財政改革について | (1) 旧ジャスコ跡地・旧庁舎跡地の今後の用途について、地域コミュニティ等と連携のもと進めるのか。 |
| | | | (2) ふるさと納税の更なる推進に向け、ふるさと納税協力事業者の募集はどのように行われているのか。 |
| | | | (3) デジタル政策担当を設ける事で、どのように市民サービスの向上が図られるのか。 |
| | | 2 産業・雇用をつくるについて | (1) キャッシュレス決済普及促進事業を、50周年記念事業として第2弾の検討は出来ないか。 |
| | | | (2) 第三次財政計画の中に、企業に対して土地活用の誘導を行うとあるが、現在の取組み状況と今後の見通しは。 |
| | | | (3) 鳥獣被害防止計画に基づく取組等を総合的に支援する鳥獣被害防止総合対策交付金の活用は出来ないか。 |
| | | | (4) 日本遺産や名所・旧跡等を旅する動画を国内外へ情報発信してはどうか。 |
| | | 3 生活をまもるについて | (1) 防災会議の女性の割合と、地域防災計画に男女共同参画担当の役割を位置づけているか。 |
| | | | (2) 2025年地域包括ケアシステム構築に向け残り3年となったが、課題と今後の見通しは。 |
| | | | (3) 介護予防・健康づくりの推進として、国や福岡県の助成事業を積極的に活用してはどうか。 |
| | | | (4) 新型コロナウイルスワクチン接種率向上にむけて、現状の課題と今後の見通しは。 |
| | | | (5) 就労準備支援事業は継続的な支援が必要となるが、人員増員や定期的な研修会はあるのか。 |
| | | 4 共助社会づくりについて | (1) 二日市コミュニティは小学校区で地域課題が違う為、校区毎のコミュニティ運営が必要では。今後の見通しは。 |
| | | | (2) 各地域コミュニティにおいては、高齢化等により人材不足が顕著化している。人的支援の強化が必要ではないか。 |
| | | 5 未来をつくるについて | (1) 小規模保育事業所の公募による保育の受け皿整備で、改善できる待機児童解消の見通しは。 |
| | | | (2) 子どもや家庭の相談支援体制強化の為、子ども食堂等との繋がり場の場づくり緊急支援事業の検討が出来ないか。 |
| | | | (3) コロナ禍の妊産婦への相談支援体制の強化に必要な産後ケア事業の実施を。 |
| | | | (4) 教育環境の充実に向け、子ども条例に参加する権利があるが学校の校則見直し等に子どもは参画されているか。 |
| | | | (5) ICT支援員の配置で期待される効果は。 |
| | | | (6) 教育機会確保法における不登校児童生徒の学びの保障の確保をどのように実施していくのか。 |
| (7) 2050年迄にCO2排出実質ゼロを宣言する「ゼロカーボンシティ」自治体が増加しているが当市の見解を伺う。 | | | |
| (8) JR二日市駅西口乗降口が開設できる事で、交通体系の検討は地域コミュニティ等と連携のもと進めるのか。 | | | |